平成２５年度日本語学校教育研究大会プレセッション

日本語教育 e-learning 展示会

〇主催

財団法人日本語教育振興協会（研修委員会、平成 25 年度日本語学校教育研究大会委員会）
日本語デジタル教育推進協議会

１．日時

平成２５年８月５日（月）９：３０～１６：００

２．会場

国立オリンピック記念青少年総合センター　国際交流棟　国際会議室

３．趣旨

日本語教育機関の教職員の教員能力の育成と伸張を目的として実施する。
本研修は、e-learning の教学の活用について学ぶことを目的とする。

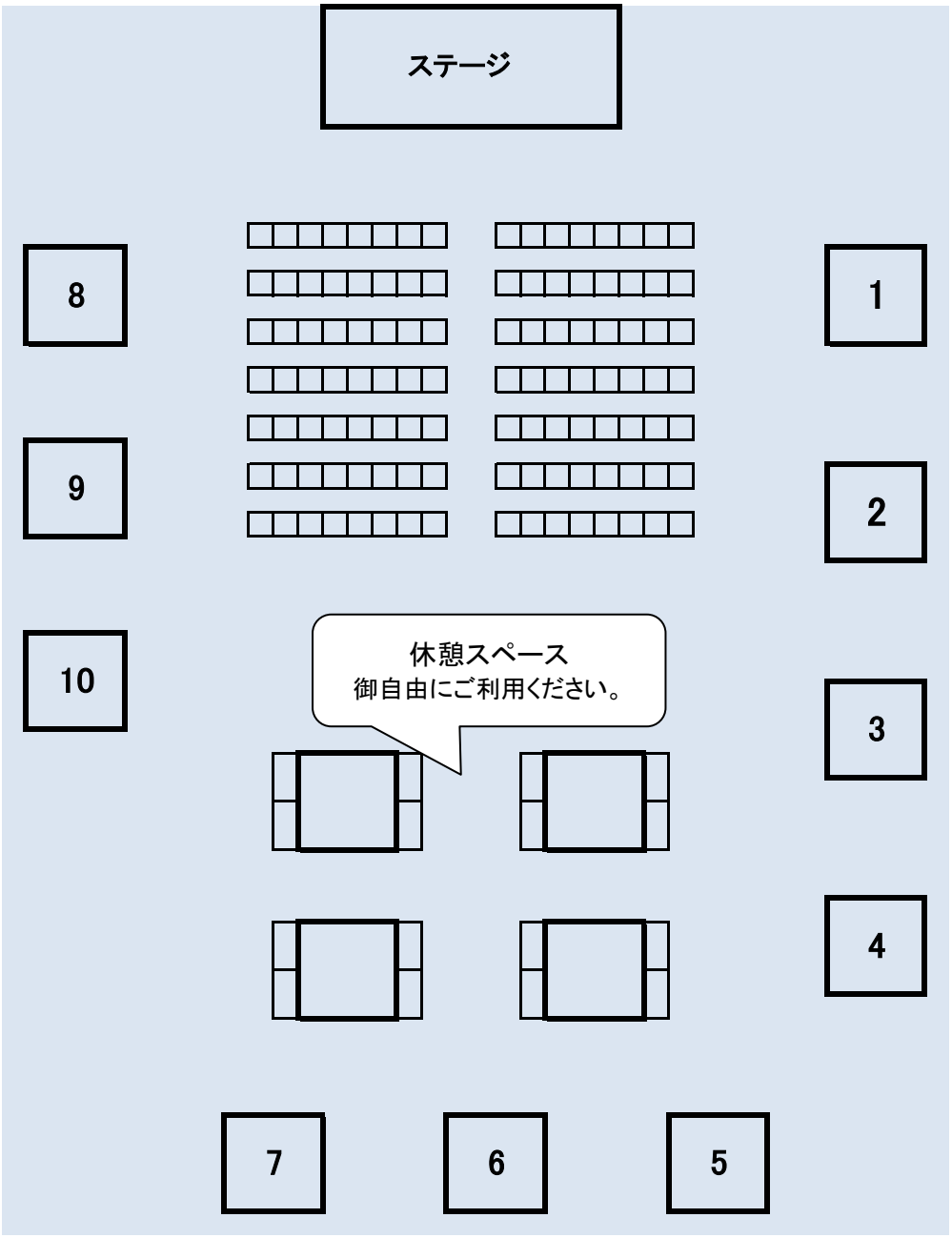
４．プログラム

9：30　開場
10：00　各出展者によるプレゼンテーション

1	10：00-10：30	李在鎬・今井新悟（筑波大学留学生センター）	筑波日本語 e ラーニング
2	10：40-11：10	窪田一郎（リンクワールドジャパン(株)）	オンライン日本語スクール“JLink College”
3	11：20-11：50	篠﨑大司（別府大学）	日本語能力試験Ｎ１合格のための e ラーニング学習システム
4	12：00-12：30	角南北斗	Web 学習リファレンス
5	12：40-13：10	難波康治（大阪大学）	iPhone,iPad 用アプリ「Perfect Master Kanji N5－N2」
6	13：20-13：50	藤本かおる・武田聡子（特定非営利活動法人　日本語教育研究所）	ビジネス文書スキルアップコース
7	14：00-14：30	尹鎬淑（サイバー韓国外国語大学校）	日本語の基本文字学習と発音練習
8	14：40-15：10	江副隆秀（新宿日本語学校）	サウンドリーダー
9	15：20-15：50	山本弘子（カイ日本語スクール）	電子黒板の教材開発

15：50　プレゼンテーション終了
16：00　展示終了

各ブース配置図



出展者・出展内容リスト

No.1～7　日本語デジタル教育推進協議会

１．李在鎬・今井新悟（筑波大学留学生センター）

筑波大学留学生センターは文部科学省の共同利用拠点制度に基づき,「日本語・日本事情遠隔教育拠点(～H27 年 3 月)」として認定され，自立学習を支援する「筑波日本語 e ラーニング」を共同利用コンテンツとして提供します。本教材は「PC＋高速インターネット回線＋ヘッドセット」があれば，どこからでも日本語の勉強ができます。本教材は三つの柱で構成されています。１）教材「学ぶ」: マルチメディア素材で日本語の文型を学ぶためのサイトです。２）教材「書く」: 参加者同士で日本語作文を書き，コミュニケーションを行うためのサイトです。３）教材「話す」: 音声チャットシステムを利用し，仮想空間で日本語を話すためのサイトです。

２．窪田一郎（リンクワールドジャパン（株））

オンライン日本語スクールのリンクワールドジャパン（株）で提供しているコースの内、海外から日本に留学する予定の学生を主な対象とした “JLink College” を紹介します。この Beginner コース（JLPT N4 レベルまで)では、PowerPoint ベースのテキストと練習問題を使用し、web 会議システムの画面共有機能を使って、生徒はオンラインで指導を受けます。テキストはダウンロードし、プリントアウトする事も可能です。ファイルシェアと学習進捗把握には Moodle を活用しています。小テストの機能により、遠隔にいながら、教師が生徒の学習進捗を簡単に把握し、指導に役立てる事が可能です。

３．篠﨑大司（別府大学）

日本語能力試験Ｎ１合格のための e ラーニング学習システムです。文法・聴解各約 1000 問の問題数と解説動画が各 26 本ついています。授業の中でご利用いただくことで、教師の授業負担の軽減と均質かつ徹底した学習環境の提供が両立できます。教師は、パソコンの管理画面から学習者の学習状況をリアルタイムで把握できるので、履修データに基づいた個別指導をすることもできます。学習コンテンツはすべてコース上にありますので、学習者 60 名までなら教師１名で対応できます。付属テキストを併用して学習しますので、自律的学習・学習効果の向上も見込めます。団体はもちろん、個人でのお申し込みも受け付けています。

４．角南北斗

Web 学習リファレンスは、従来の紙のリファレンスを Web 化してパワーアップさせるツールです。検索機能による使い勝手の向上のほか、関連語彙や文型を同時に表示して学習効率を高めたり、利用者好みのリストの作成、音声を絡めた一問一等式のクイズも盛り込めます。スマホでも見やすいため、紙の教科書との併用や、日常の隙間時間での学習支援にも最適です。教師間での共有リソースとして、授業で使える例文などを登録して使うのもよいでしょう。また、Excel データの読み込みにも対応していますので、作成したデータを他の教材に再利用するのも簡単です。一般公開用途はもちろん、関係者限定での運用も可能です。

５．難波康治（大阪大学）

Perfect Master Kanji N5－N2

「Perfect Master 漢字」は、非漢字圏学習者を主な対象とする iOS 用漢字練習アプリです。漢字語 1,125 語（漢字 1,023 字を含む）を精選し、66 の Unit を学習することにより、日本語能力試験 N5 から N2 レベルまで対応します。アプリ単独の学習だけではなく、教科書「日本語の漢字(N5-N2)」と併用した効果的な教育システムを提案します。

【特徴】

・画面に表示される漢字をなぞって書き順練習
・手書き文字認識エンジンによる書き取り練習（簡易辞書機能付き）
・漢字の例文を表示、音声合成機能による問題読み上げ（オフラインでも使用可能）により文脈の中で漢字語を学習（回答履歴機能で復習）

６・藤本かおる・武田聡子（特定非営利活動法人　日本語教育研究所）

ビジネス文書スキルアップコース。ビジネスシーンを想定し学習効果の高いトピックで実践力を養います。受講生のニーズに合わせ、トピックのカスタマイズも致します。研究所独自の学習サイトで基礎知識を学び、作文を書きます。それを経験豊かな日本語教師が１本につき２回添削します。添削では記号を工夫し、添削意図が一目でわかるようにしています。こうした学習を通して、学習者が客観的に自分の書いたものを見る目を培います。更に単なる教育的な添削だけでなく、心の通ったやり取りを心掛けています。学習進捗状況を見守り学習が滞ったときには働きかけ、最後までサポートすることで、受講生のモチベーション維持の大きな力となっています。

７．尹鎬淑（サイバー韓国外国語大学校）

日本語を初めて学ぶ学習者のためのE-ラーニング&スマートラーニングコンテンツである。ひらがなとカナカナ、発音練習の後、基本的な語彙、文型、文法学習を通じた簡単な読解、作文、聴解、会話練習ができる。簡単に楽しく日本語が自然に向上可能な学習コンテンツ構成。前半は講義を中心に、動画と電子黒板、録音した音声で、ダイアログ、語彙、文法等を説明。

後半は、学習内容を反復練習出来るよう、楽しく多様なクイズやゲームなどで構成され、既習講義を何度も視聴することで繰り返し学習できる。

また、出席、学習進度、Q&A掲示板、SMS、メール、学習資料室、課題、評価などの学習管理も E-ラーニング&スマートラーニングシステムで可能。

No.8～9　日本語教育機関

８．江副隆秀（新宿日本語学校）

「サウンド・リーダー」本機は、大手光学メーカーが開発したもので、現在、学校法人新宿日本語学校が生産しています。

本機の技術は、二つの重要な技術から成り立っています。一つは、音声をドット・コードにする技術。もう一つは、そのドット・コードから、音を再生する技術です。

最近多く採用されている、ペン式のものは、そのペンの中に音声が記憶されているので、そうしたものとは、技術の内容が異なるものです。ペン式のものは、書籍と対応しているので、書籍が変更された場合、リンクしている音声との不一致が出る可能性がありますが、本機は、ドット・コードに変換されていれば、どのような言語でも、あるいは、鳥の声でも再生できるという特徴を持っています。色々な機能をお楽しみください。

９．山本弘子（カイ日本語スクール）

2012 年 10 月より電子黒板などデジタル機器を導入し、チームで教材を開発し始めたばかりで、まだ試行を繰り返している段階です。

今回出展の機会をいただき、電子黒板の利点を生かした教材開発ー初級漢字教材や動詞変形ドリルの作成方法や使用ソフトなどをご紹介することになりました。タブレットを使った授業はまだ始めたばかりですが、i-pad mini を用いた情報検索や資料の共有などを行う事例など、日本語学校が低コストで手軽に始められるデジタル環境のビジョンを、ご来場の方々と共有したいと思います。一緒に機器を触りながら、いろいろなアイデアを交換する場となれば幸いです。

No.10　業者によるデモンストレーション

１０．株式会社ブイキューブ

インターネット上で映像・音声・資料の双方向のやり取りを「いつでも・どこでも、だれでも」簡単に実現できる V-CUBE のビジュアルコミュニケーションサービスです。WEB 会議市場 6 年連続シェア No.1 獲得、24 時間 365 日体制でサポートいたします。

以下のような教育現場での活用事例も交えてご紹介いたします。

・遠隔授業における双方向コミュニケーション　・各学校間での児童生徒の交流学習

・海外留学生等との国際理解教育及び交流　　・教職員間の連絡調整等の会議　等

タッチディスプレイ式 PC や iPad を展示、デモンストレーションもご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄り、V-CUBE のサービスをご体験ください。